

会議名称：平成26年度1月期古賀市社会教育委員会議

日時：平成27年1月21日（水）19時～21時30分

場所：花鶴丘3丁目区公民館

主な議題：花鶴丘3丁目区との地域活動交流会

傍聴者数：傍聴者なし

出席者：木下委員、力丸委員、加藤委員、橋本委員、船越委員、松本委員、水上委員（以上委員7名）

山田課長、本田係長、野田、篠塚

花鶴丘3丁目区区長、分館長ほか数名

欠席者：小山委員、永井委員、平島委員

事務局：教育委員会生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：①レジュメ

②生涯学習社会における社会教育関係団体のあり方について（答申）（案）

③「第2回生涯学習笑顔のつどい」全体構成について（案）

会議内容：以下のとおり

木下議長：

1月期社会教育委員の会議を始める。本日は、地域の公民館に行って、地域の実情について話していただくということで、花鶴丘3丁目区にお伺いした。皆さんお忙しいところありがとうございました。私の方から社会教育委員についてご説明し、そのあと各委員に自己紹介をしてもらう。

（木下議長から社会教育委員の説明、各委員から自己紹介あり。）

福井区長：

今日はお越しいただきありがとうございます。私は花鶴丘3丁目区の区長をしている福井といいます。今日はそれぞれ役員も来ているので、私の方から花鶴丘3丁目区の概要について説明し、その後意見交換の中で補足説明などしていただきたいと思う。

（福井区長から花鶴丘3丁目区の活動内容についてパワーポイントを使って説明あり。）

（その後、社会教育委員との間で意見交換あり。）

委員：

分館活動団体の中に「ゆめクラブ」というのがあるが、どのような団体なのか。

花鶴丘3丁目区：

発足当時、ちょうど子どもが成人して子育てが終わった世代の人たちが、今度は地域の子どもたちのために何かできることはないだろうかという思いから立ち上げられたと聞いている。下校時の子どもたちへの声かけ活動や、花鶴丘小学校の卒業式で花のアーチを作って子どもたちをお祝いしたりということを行っている。

花鶴丘3丁目区：

福祉会の活動のときに、コスモス広場において野菜の移動販売を行ってもらっている。また、分館活動団体のひとつである野菜クラブも、土曜日に「野菜市場」として公民館で自分たちの作った野菜を売っている。

花鶴丘3丁目区：

今年、成人式駅伝に区として20年ぶりに参加することができた。地域活動に何とか若い世代の人たちを引っ張り込みたいと考えていたのだが、今回中学生や高校生で参加していいよと言ってくれた人がいて、やっと実現した。

委員：

私の住んでいる地域も花鶴丘3丁目区とよく似ていて、団地としてある時期にいつせいに住民が移り住み、数十年経って今は住民の年齢も上がり、だんだんと地域活動が継続できなくなっているような状況である。同じような環境にあるはずなのに、なぜ地域によってこのように違うのだろうか。何かコツのようなものがあるのか、中心的な人物がいるのか。

花鶴丘3丁目区：

この地域ができた頃にできたグループで、ソフトボールクラブがある。当時のメンバーは最も元気でいろいろなことを中心になって引っばってきた。その頃のメンバーやつながりが今でもこの地域のいろいろな活動の中で生きていると思う。

委員：

地域活動が活発化するためには、やはり活動拠点が大事だと思う。今日初めてこの公民館に来たが、非常に開放的で特徴的なつくりをされていると感じた。公民館という建物に込めた思いはどういったものがあるのか。

花鶴丘3丁目区：

当時の分館長や分館主事の思いとしては、できるだけ外・内の区切りを感じさせない、オープンな空間をつくりたいということ、そして高齢者でも使いやすいフラットな構造にしたいということだった。そうして区民の意見等も集約しながら公民館を建設していった。

木下議長：

今日はいろいろなお話が聞けて、本当に有意義な地域交流会になった。どうもありがとうございました。

(花鶴丘3丁目区との地域活動交流会は終了。その後、公民館を借りて定例会議を行う。)

木下議長：

では引き続き、1月期社会教育委員の会議を行う。まずは教育委員会からの諮問についてこれまで議論してきたものを答申としてまとめる必要がある。資料に答申案があるので、これについて事務局から説明願う。

事務局：

本日お配りしている答申案は、12月の会議で出した答申案をもとに話し合った内容を反映させたものである。下線部分が12月答申案から変わった部分なので、その部分について説明をする。

(資料に沿って変更点を説明。)

木下議長：

では何かご意見はないか。

加藤委員：

2頁目の(4)、「さまざまな理由で社会と関われなくなっている人たち」とあるが、「関われなくなっている」という表現には違和感がある。「関わりにくくなっている」とかの方がいいのではないか。

木下議長：

ではそのように表現を改めることとする。ほかに意見はないか。では教育委員会の諮問に対する答申はこれで決定する。

2月の教育委員会へ私が出席して、答申を提出する。

続いて、第2回生涯学習笑顔のつどいについて。ここからは進行を加藤副議長に交代する。

加藤委員：

ではまず出演団体について。それぞれ考えてきてもらったと思うので、意見を出してほしい。

(各委員の意見は以下のとおり。)

委員名	アトラクション	実践報告
加藤	はんめん会(博多仁和加)	古賀西小学校校区コミュニティ
橋本	DowbleD(チアダンス)	
松本	DowbleD(チアダンス)	西っ子アンビシャス広場
船越	絵本の読み聞かせ (小中学生のリーディングリーダー)	西っ子アンビシャス広場(特に古賀南区)
水上	笑いヨガ	要約筆記
小山	古賀市消防団火消し節 青柳雅楽	青柳校区通学合宿
平島	DowbleD(チアダンス)	えんがわくらぶ
事務局		木よう館(花見東区) 古賀市民駅伝競走大会に参加する地域チームの取組 谷山区盆綱引き(語ろう会) 朝勉&朝弁

今日は欠席の委員もあり、時間もあまりないので、次回の会議で最終的に決定したいと思う。それまでに皆さん他の候補も考えてきてほしい。

次に全体構成について。これは事務局から説明をお願いする。

事務局：

資料をご覧いただきたい。第2回生涯学習笑顔のつどいについては、アンケートの意見なども踏まえ、また実際にやってみた実感として、全体の時間を2時間に収めたいということは前回も申し上げた。そこで、2時間にする場合どこをどのように調整するかという案を提案する。これはあくまで第1回目の構成をベースに考えるものなので、ここからまた全体の構成を含めて委員の皆さんで話し合ってもらいたいと考えている。

(資料に沿って全体構成の案を説明。)

加藤委員：

全体構成についても、具体的な話し合いは次回の会議で行いたいと思う。笑顔のつどいについては本日はここまでとする。

木下議長：

ではこれで1月期社会教育委員の会議を終わる。皆さんお疲れさまでした。